

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	教室・実習室
担 当 教 員	日下部 麻美 谷岡 智子 川上 久美子	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目にま</p> <p>様々な状況・疾患をもつ子どもとその家族について理解した上で、療養生活から生じる問題や必要な看護について学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験 80% レポート課題 20% ※詳細は第1回授業で提示します。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院(臨床総論) ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>学習範囲が広いので、教科書を中心にしっかりと予習し、授業後は資料の整理をするなど、復習をしましょう。 事前課題がある場合はしっかりと予習を行い授業・演習に取り組みましょう。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>学習範囲が多岐にわたっていますので、しっかりと予習・復習をしましょう。技術演習もあります。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	子どもの状況に特徴づけられる看護について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6 章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
	各コマに おける 授業予定	課題の提示 子どもの状況に特徴づけられる看護:入院・外来、在宅、災害時				
第2回	授業を 通じての 到達目標	検査・処置を受ける子どもの体験について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6 章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
	各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 子どもにとっての体験、安全・安楽、抑制、与薬、輸液管理				
第3回	授業を 通じての 到達目標	検体検査を受ける子どもの看護について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の 手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
	各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 検体検査(採血、採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺)呼吸症状の緩和、救命処置				
第4回	授業を 通じての 到達目標	検査・処置を受ける子どもの看護技術を実施することで留意事項 を述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の 手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、 課題をまとめる(30~60 分)	
	各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 技術演習① 抑制・輸液管理(採血)・採尿				
第5回	授業を 通じての 到達目標	検査・処置を受ける子どもの看護技術を実施することで留意事項 を述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3 章を読む(30分) 事後学習:授業の復習 (30分)	
	各コマに おける 授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護: 技術演習② 救急処置				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)
	各コマにおける 授業予定	慢性期の子ども経過と看護について述べる ことができる。 子どもにおける疾病の経過と看護① 慢性期の子どもの看護		
第7回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)
	各コマにおける 授業予定	急性期の子ども経過と看護について述べる ことができる。 子どもにおける疾病の経過と看護② 急性期の子どもの看護		
第8回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)
	各コマにおける 授業予定	周手術期の子ども経過と看護について述べる ことができる。 子どもにおける疾病の経過と看護: 周手術期の子どもの看護		
第9回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 臨床総論第5章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)
	各コマにおける 授業予定	終末期の子ども経過と看護について述べる ことができる。 子どもにおける疾病の経過と看護: 終末期の子どもの看護		
第10回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 臨床総論第5章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)
	各コマにおける 授業予定	発熱、脱水などの症状を示す子どもの看護 について述べる ことができる。 症状を示す子どもの看護: 発熱、脱水、下痢・嘔吐		
第11回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 臨床総論第7・8章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)
	各コマにおける 授業予定	呼吸困難、けいれんなどの症状を示す 子どもの看護について述べる ことができる。 症状を示す子どもの看護: 呼吸困難、けいれん		
第12回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 各論第1・2章 を読む(30分) 事後学習: 授業の復習 (30分)
	各コマにおける 授業予定	障害のある子どもの看護と子どもの虐待 について述べる ことができる。 障害のある子どもと家族の看護: 障害のとらえ方、子どもと家族への支援 子どもの虐待と看護		
第13回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 各論第2章を 読む(30分) 事後学習: 授業の復習 (30分)
	各コマにおける 授業予定	授業の内容が理解できる 代謝性疾患の子ども看護について述べる ことができる。 健康障害のある子どもの看護: 代謝性疾患 と看護		
第14回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 各論第3・4章 を読む(30分) 事後学習: 授業の復習 (30分)
	各コマにおける 授業予定	内分泌疾患の子ども看護について述べる ことができる。 健康障害のある子どもの看護: 内分泌疾患 と看護		
第15回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 各論第5章を 読む(30分) 事後学習: 授業の復習 (30分)
	各コマにおける 授業予定	アレルギー、感染症の子ども看護について 述べる ことができる。 健康障害のある子どもの看護: アレルギー、 感染症と看護		